

び術前・術後Hbより算出した推定出血量は有意に多かった。低体重および髄腔の広い症例は大量輸血の危険因子と考えられ慎重な麻酔管理のもとセメントの使用を考慮すべきである。

58. Dynamic MRI PEIカラーマッピングを用いた大腿骨頭部内側骨折の骨頭血流評価

中嶋隆行, 北崎 等, 本田 崇
新保 純, 花岡英二 (県立佐原)

大腿骨頭部内側骨折における骨頭への血流評価として, Dynamic MRI PEIカラーマップを施行した。Dynamic MRIを行い, Dynamic curve patternを3型に分類した。Dynamic curve patternからPEIカラーマップを作成し, 3型に分類した。Dynamic MRI PEIカラーマップは骨頭全体の血流を明確に表現可能であり, 骨頭血流評価法として有用である。

59. 骨盤後傾によって生じた人工股関節反復性前方脱臼の1例

三橋 繁, 中村伸一郎, 金 民世
木下知明, 神川康也, 伊嶋正弘
三橋 稔 (習志野第一)

骨盤後傾に伴う機能的カップ設置角異常が原因の股関節反復性前方脱臼の1例を報告した。症例85歳女性。内科合併症のため長期入院臥床を強いられ, 筋力低下とともに骨盤後傾が生じ, 脱臼を繰り返した。保存治療に反応しないためカップ再置換を施行。カップの設置位置を変え, 骨頭を22mmから28mmへ変えた。術後カップ設置角は仰臥位で外開き30°前開き0°であったが, 立位でそれぞれ35°, 15°となり, 脱臼は無くなった。

健やかな人生に、健やかな骨

Yes, Alfarol!



骨粗鬆症、およびビタミンD代謝異常に伴う骨疾患に

Ca・骨代謝改善1 α -OH-D₃製剤 薬価基準収載
アルファロール 液 カプセル
ALFAROL [一般名: alfacalcidol.] 0.25 μ g・0.5 μ g・1 μ g・3 μ g

〔効能・効果〕

- 下記疾患におけるビタミンD代謝異常に伴う諸症状(低カルシウム血症、テタニー、骨痛、骨病変等)の改善。
慢性腎不全、副甲状腺機能低下症、ビタミンD抵抗性クル病・骨軟化症、未熟児(液のみ)
- 骨粗鬆症(カプセル3 μ gは除く)

〔使用上の注意〕——抜粋——

(1) 一般的注意

- 1) 過量投与を防ぐため、本剤投与中、血清カルシウム値の定期的測定を行い、血清カルシウム値が正常値を越えないよう投与量を調整すること。
- 2) 高カルシウム血症を起こした場合には、直ちに休薬する。休薬により血清カルシウム値が正常域に達したら、減量して投薬を再開する。

* 用法・用量、その他の使用上の注意、取扱い上の注意は添付文書をご覧ください。



中外製薬

〔資料請求先〕

〒104 東京都中央区京橋2-1-9

CAL 1542